

地域の歴史を訪ねて歩く

歴史調査

六月は檜原の歴史調査を、今回は越畑の歴史調査を行いました。越畑に残る石仏・経王塔・石灯籠をしばしば訪ね歩き、石に刻まれた文字から建立年月日や建立者などを読み解いていきます。見たことがない漢字が出てきたので、漢字辞典を何年ぶりに引いたり、地道ながら大変な作業でした。



また、水尾ルートを点検に行った際に、清和天皇陵への道標を発見しました。戦前に天皇陵参拝が流行っていたと聞いてはいましたが、それについて詳しく調べるために、大阪市立図書館に行ってきました。文献などに記されていたので良かったのですが、記録がなかったら分からないままです。そう思うと、どこでもいつでも「邪馬台国論争」みたいなことは起きるわけですね。



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二―五 岩陰出張所
電話 〇七七一 四四 〇三一四

久々にマルシェへ



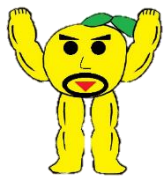
七月一〇日は区役所にて「つながるマルシェ」が行われました。久々のマルシェでした。水尾特産品加工組合による出店で、私もお手伝いに行きました。

多くの人々に寄っていただき、水尾のゆず・水尾の魅力を知っていただけました。これを機会に水尾に来てもらえればうれしいですね。

隊員レギュラー出演
「京の田舎暮らしだより」
京都三条ラジオカフェ
FM 79.7MHz
毎月、第2、第4火曜日
12:00 ~12:09
8月は11日と25日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>

↑ここからも聴けます！



日の要慎

▽歴史調査で石標などを見ると、見たことがない漢字に出くわす。「千部〇讀誦」の「〇」が分からない。漢字辞典を引いても分からない。こんな漢字あったらどうするか？誤字ではないか？などと苦悩した。

▽試しに書いてみたら、「独」の旧字体の「獨」に似てるようだった。「独」は一人、という意味のほかに「ひたすら」という意味もある。すると「千部獨讀誦」は(お経を)千回ひたすら読み唱える、という意味になる

▽石灯籠では「甲」という字を見た。調べてみると「町」の異字体のようだ。「甲」というように「へん」と「つくり」を縦に書いたりすることは、空海の「風信帖」などにみられるという。

▽漢字辞典を読むと一説に「町」は田に通じる丁字型のあぜ道、という意味らしい。そう思うと、岩陰は「甲」の字の方がしっくりとくるような気がする。